



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

UNU-IAS
Institute of Advanced Studies

国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット (UNU-IAS OUIK)
「里山・里海」研究プロジェクト 公開シンポジウム

里山・里海と私たちの暮らし： 新たなコモンズによる地域資源の活用と地域活性化

日 時：2013年3月21日（木）13：00～16：30（受付12：30～）

場 所：金沢市文化ホール3階 大会議室（金沢市高岡町15-1）

主 催：国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット

共 催：金沢大学環日本海域環境研究センター、金沢大学里山里海プロジェクト

後 援：石川県、世界農業遺産活用実行委員会

言 語：日本語および英語（同時通訳あり）

里山・里海は、人による管理で支えられた生態系のモザイク構造に特徴づけられ、私たちの暮らしに様々な生態系サービスをもたらしています。「能登の里山里海」は、地域主体の管理のもと歴史を通じて育まれてきた生物多様性、優れた景観、伝統的な農林漁業技術、文化・祭礼などを含む「総合力」が評価され、2011年6月に世界農業遺産（Globally Important Agricultural Heritage Systems: GIAHS）に認定されました。このことは、里山・里海の価値の高さと重要性が国際的に認められたことを示すと同時に、里山・里海を、動的な維持・管理を通じて将来世代に継承する必要性を改めて提起していると言えます。しかし、急速な高齢化、過疎化、耕作放棄などにより、地域社会は、里山・里海をこれまでのように維持していくことの難しさに直面しています。こうした里山・里海における地域主体の順応的管理の危機は、「コモンズ」の崩壊とも捉えられるでしょう。

本シンポジウムでは、里山・里海の持続的利用・管理の新たな方向性について、国内外の有識者をまじえて意見交換を行います。

プログラム

- | | |
|---------------|--|
| 13:00 – 13:10 | 開会挨拶
竹本和彦氏（UNU-IAS OUIK 所長） |
| 13:10 – 13:50 | 基調講演 1：新たなコモンズ – 不整合の適合化（仮）
アナンサ・クマール・ドゥライアパ氏（UNU-IHDP 事務局長） |
| 13:50 – 14:10 | 基調講演 2：人々の暮らしと生物多様性・生態系サービス（仮）
中静 透氏（東北大学大学院生命科学研究科 教授） |
| 14:10 – 14:30 | 基調講演 3：石川における生物多様性・生態系サービス評価
中村浩二氏（金沢大学学長補佐（社会貢献）・環日本海域環境研究センター長 教授／
UNU-IAS 客員教授） |
| 14:30 – 14:50 | コーヒーブレイク |
| 14:50 – 16:30 | パネルディスカッション：石川県における里山・里海 – 新たな課題と機会
モデレーター：竹本和彦氏
パネリスト：数馬嘉雄氏（興能信用金庫 理事長／数馬酒造株式会社 前代表取締役社長）（未定）
井村辰二郎氏（株式会社金沢大地 代表）
石川県環境部里山創成室（未定）
アナンサ・クマール・ドゥライアパ氏
中静 透氏
中村浩二氏 |
| 16:30 | 閉会 |

参加無料、一般公開。参加ご希望の方は、お名前とご連絡先（e-mail アドレスまたは電話番号）を記載のうえ、「3月21日シンポジウム参加希望」と明記し、下記へお申し込みください。

国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット
FAX：076-224-2271
E-mail：unu-iasouik@ias.unu.edu